



【穀雨】4月19日～5月4日頃

穀雨とは、春の雨が穀物を潤すという意味です。4月19日頃から立春の前日までにあたり、春の終わりを見送る節気となります。気温と一緒に水温も上がってきたことをしらせてくれるのは、水辺から顔を出す葦の芽です。次いで、寒の戻りによる春の霞がようやくおさまると、苗代でも稲の芽が伸び始めます。そしてすっかり暖かくなった頃には、艶やかな牡丹の花が咲きだすでしょう。夏はすぐそこまで近づいてきています。

●4月1日は何の日？

4月1日といえば『エイプリルフール』。日本では「嘘をついてもいい日」とよく言われています。諸説ありますが、海外では、エイプリルフールの「嘘」は、ジョーク(joke=冗談)、トリック(trick=いたずら)、プランク(prank=悪ふざけ)といった単語で表現され、「罪のない嘘やいたずらで笑わせてもいい日」とされています。

●4月1日生まれが「早生まれ」になるのはなぜ？

みなさんは、「誕生日がくると1つ年をとる」と考えていませんか？
実は、民法143条では、「誕生日の前日に1つ年をとる」ことになっています。つまり、4月1日生まれの人は3月31日に1つ年をとるので、3月31日生まれの人と同じ学年の「早生まれ」になります。そして、学校の新年度は4月1日だから、1つ上の学年に繰り上がるのです。

【旬の菓子 花見団子】

桜のお花見の時期に作られるピンク、白、緑の3色団子。寒い冬が終わり(白)、新芽が芽吹き(緑)、桜(ピンク)が咲いて春が来る、という季節の移ろいを表す色合わせとされています。ちなみに、お団子の数は、花見団子は3個、みたらし団子は4個が一般的。お団子がかたくなったら、フライパンで軽く焼くと外はカリッと中はもちっとしておいしくいただけます。

参考文献:「旬のカレンダー」ダイヤモンド社

:「季節の兆しカレンダー」ダイヤモンド社

:「きせつのぎょうじ絵じてん」三省堂

:「200のふしぎがすいすいわかる ものしりブック」朝日新聞出版